

平成26年度予算見積調書

課室名：みどり自然課
 担当名：野生生物担当
 内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B66	野生生物保護事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費		
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び適正化に関する法律			戦略項目				
						分野施策	040104 生物多様性保全の推進			
1 事業概要 野生生物の保全を図るため、その生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護事業計画及び特定鳥獣保護管理計画に基づき、野生生物の安定的な保護管理を図る。 (1)ガンカモ類の生息調査 412千円 (2)特定鳥獣保護管理事業 16,938千円 (3)カワウ広域保護管理事業 1,279千円 (4)ツキノワグマ生息調査 4,320千円 (5)ムサシトミヨ保全対策事業 16,650千円 (6)生物多様性普及啓発事業 700千円				5 事業説明 (1)事業内容 ア ガン・カモ類の生息調査 生息状況調査委託(県内160か所) 412千円 イ 特定鳥獣保護管理事業 生息状況調査・個体分析調査・放射性物質調査 16,938千円 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 1,279千円 エ ツキノワグマ生息調査 生息分布、生息数等の調査 4,320千円 オ ムサシトミヨ保全対策事業 ムサシトミヨ保護センター及び生息地の管理 16,650千円 カ 生物多様性普及啓発事業(渡良瀬遊水池) 県民調査支援事業委託 700千円 (2)事業計画 ア ガン・カモ類の生息調査 環境省の方針に基づき毎年度1回実施 イ 特定鳥獣保護管理事業 第3次特定鳥獣保護管理計画(シカ・イノシシ)計画期間：平成24年度～28年度 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施 エ ツキノワグマ生息調査 継続的に生息状況をモニタリングするため、3年に1回実施 オ ムサシトミヨ保全対策事業 業務委託、自家発電装置の設置等(通年) カ 生物多様性普及啓発事業 平成25～26年度：ラムサール条約湿地登録を記念した県民参加による自然環境調査 (3)事業効果 ・ガン・カモ・ハクチョウ類の冬季の生息状況及び渡来傾向、生息地等の基礎資料を得られる。 ・イノシシ・ニホンジカ等の個体群の安定維持、人と野生鳥獣との共生と被害防止対策の計画的な推進が図られる。 ・カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。 ・ツキノワグマの適切な保護管理を実施し、人とツキノワグマの共生を図ることができる。 ・ムサシトミヨを適切に保全することができる。 ・県民に身近な自然環境や生物多様性保全に対する意識の向上を図る機会を提供することができる。						
2 事業主体及び負担区分 県10/10										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)林野行政費 (細目)鳥獣行政費 (細節)鳥獣行政費 (積算内容)鳥獣保護事業の実施等に関する事務										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		繰入金								
決定額	40,299							40,299	7,232	
前年額	47,531	5,000						42,531		